地域共生ソリューション開発I

最終課題

氏名：稗内颯俊

学籍番号：ok210079

チーム番号：A4

チームPM氏名：平尾佑馬

ソリューション名称：

「アクティブシニア」を増やそう

提出日：　　2024年　　　2月　　　7日

基本設計仕様書

# 1．概要及び目的 目的：高齢化社会と人材不足という二つの社会問題を解決したいと思い、私たちは、アクティブシニアを増やして人材不足問題を軽減しようと考えました。 概要：学ぼうと意識のある高齢者に対して健康維持のアプローチをかけるました。そこで学ぼうと意識のある高齢者が多い商工会議所さんを利用し、そこに通う高齢者たちをアプリを使い健康維持促進していく

## ビジネスモデルキャンバス

ダイアグラム

自動的に生成された説明

## ビジネスモデルキャンバスにおける試作物との関係

私たちが製作した試作物は高齢者が健康維持をできるようにウォーキングアプリを製作しました。  
そのアプリを利用することにより、地域住民の移動データが取れ、地域の発展、貢献に繋がる

# ２．システムアーキテクチャ

アイコン が含まれている画像

自動的に生成された説明

# ３．機能要件

GPSを利用した現在位置の表示

コンパス機能を利用した方位の表示

GPSとコンパス機能を合わせた、商工会議所の方角の表示

ウォーキング開始からのタイマーの表示

マップ上の企業の情報管理

# ４．非機能要件

ユーザインタフェースの一貫性(違和感がなければオッケー)

バッテリーの消費を最小限に抑える設計

データ通信量を最小限に抑える設計

アプリ容量を最小限に抑える設計

OSの互換性のテスト

快適に画面遷移が行える読み込み速度  
地域の高齢者でも扱える物とする(分かり易いユーザインタフェース)

# ５．データモデル

マップ｛GPS，  
　　　　コンパス（方位），  
　　　　企業情報(画像やウォーキング者の興味を引く様々な情報),  
　　　　ルート軌跡｝  
タイマー｛時間管理のデータ｝

# ６．ユーザインタフェース設計

# グラフィカル ユーザー インターフェイス, ダイアグラム, アプリケーション 自動的に生成された説明

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明

# チームにおける自身の役割と他メンバーの役割について述べよ

リーダー：平尾佑馬  
開発：平尾佑馬  
　　　金本和弘

　　　稗内颯俊

　　　黒川夢翔  
坂根健朗

# 自身のチームワークに対する貢献度を客観的に述べよ 皆と一緒に八尾市役所に訪問し、自分たちの案をより良いものとするために働きました。また開発にも携わり、わからない部分を支え合っています。